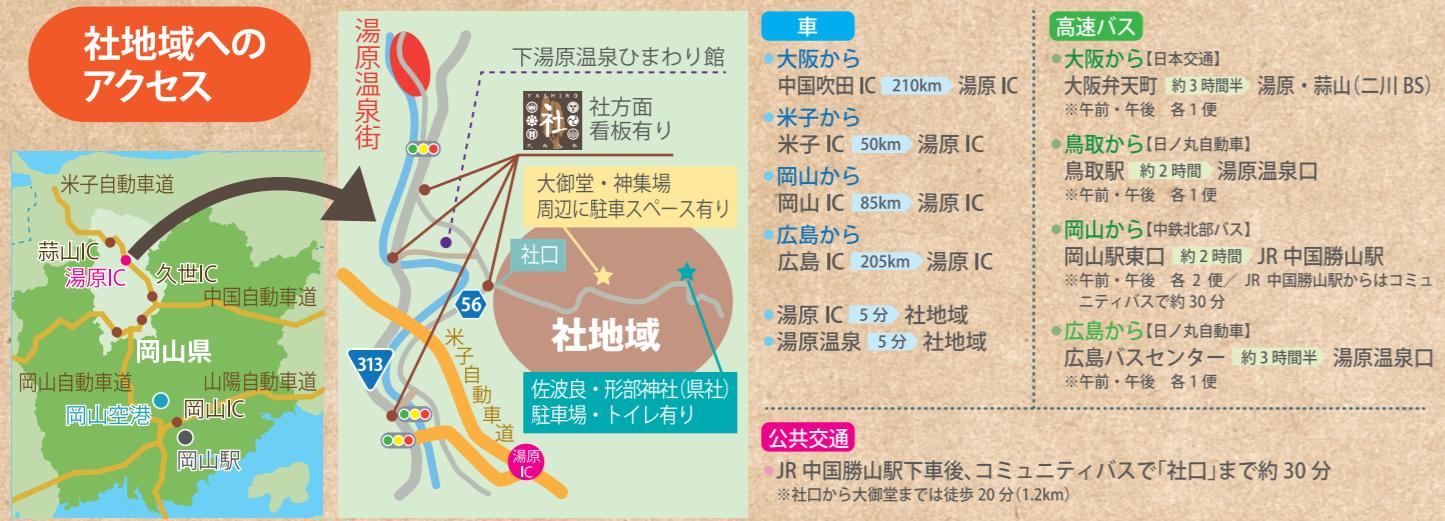


社歴史年表

社地域の動き		その頃の日本や美作地方
8~9世紀	山々を自然崇拝する祭祀の痕跡が確認される	平城京(奈良)に遷都(710年) 備前国から美作国が分立(713年) 平安京(京都)に遷都(794年)
864年 927年頃	社地域の神々が從五位下になる(神々の初見) 『延喜式』に、式内社として社地域の8神が記載【地図①②③】	奈良 平安(院政)
1128年 1131年	式内八社の総称「布施社」が仁和寺文書に記載(布施社の初見) 「布施社」が京都・仁和寺の庄園になる この頃、庄園政所(現地事務所)として福圓寺【地図⑥】が創建か 年貢輸送路として「仁和小路」【地図⑧】の名が付く	白河上皇、院政を開始(1086年)
1186年	治承・寿永(源平)内乱の影響により、社地域の神職・民家 が被害を受ける この頃、仁和寺により、最初の大御堂【地図④】が建立されたか	平治の乱、平氏政権樹立(1159年) 平氏滅亡(1185年)
1350年前後	大御堂前に宝篋印塔【地図⑦】が造立される	鎌倉
1365年	「布施社」現地から仁和寺に年貢が届かない事件が起こる	南北朝
1400年	隣接する富美庄(鏡野町)に年貢を奪われる(「布施社」の終見) この頃、応仁・文明の乱の影響で仁和寺への年貢納入は途 絶えたか	室町
1500年頃	この頃、社地域の武士団として美甘氏が台頭 大草屋敷周辺【地図⑨】に居館を構え、式内社の支配・祭事 にも関与	戦国
1567年	美甘氏が社地域内の広範な場所に領地を展開	(安土桃山)
1621年	鉄生産の商人として狩谷氏が移住	江戸
1700年頃	社地域の広範囲で鉄生産(たたら)が盛んに行われる	
1850年	社地域から流れ出る「鉄汁」が下流域で公害問題化	
1881年 (明治14年)	佐波良・形部神社の社格が県社【地図①】となる	明治

社地域への
アクセス



社地域をもっと知りたい方へ。
地元ガイドがご案内します!

式内八社を中心に、社地域の歴史や魅力をわかりやすく語る地元のガイドです。
お気軽にお問合せください。

【ガイドのお申込み】一般社団法人 真庭観光局

T E L : 0867-45-7111
MAIL : produce@maniwatrip.jp

※毎月第2土曜(13:30~15:30)、第4日曜(9:30~11:30)のみ開催

【その他のお問合せ】社地域振興協議会

T E L : 090-1686-0292 (樋口)
U R L : <https://i-maniwa.com/area/yashiro/>

※社地域の史跡、行事ごとの情報も発信しています

発行: 真庭市 2019年3月

中世の情景へといざなう 式内八社の里めぐり

大御堂(おみどう)
地域内の古い寺院建築を、安土桃山時代に縮小再建したと伝わる素朴な古堂。
2018年度の調査により、柱の一部は平安時代(12世紀末)のスギが使われていることがわかりました。

中世の遺産・文化が色濃く残る社へ

山々に囲まれ、清らかな水が湧く、自然豊かな社地域は、まさに日本の原風景。そんな社地域には、神社や御堂、石造物、城跡などの歴史遺産が数多く点在しています。

平安時代、醍醐天皇の命で編纂された『延喜式』に記載された重要な神社は、「式内社」と呼ばれていました。『延喜式』に記載された美作国11の式内社のうち、社地域にはじつに8つが集中しており、古代から神聖な場所とされてきました。中世以降にも多くの記録に記載され、古い形をとどめる祭りや行事も

「式内八社」とは佐波良・形部神社(県社)、二宮(長田、兎上、壹粟・大笹、久刀神社)、横見神社の8つの神社の通称です。

残っています。

これらは、いまなお、およそ220名の地域の方々によって大事に守られ、次の世代へと受け継がれています。中世の歴史遺産や文化が多く残り、しかも現在にまで人々によって引き継がれている、とても貴重な場所こそが社地域なのです。

なぜ社地域に8つの式内社が集まったのか。その謎へと足を踏み入れてみませんか。



1930年頃 佐波良・形部神社(県社)



1950年頃 茅葺きの大御堂



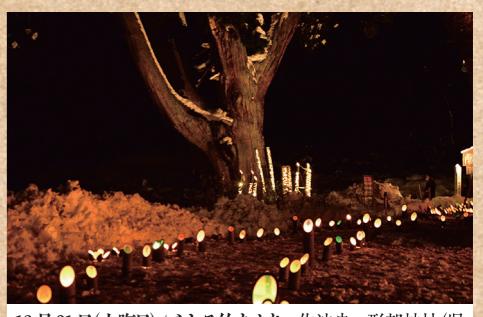
1960年頃 牛での耕運作業



7月中旬/百万遍数珠回し: 大御堂にて約25mもの数珠を回し、無病息災や五穀豊穣を祈願します



10月9日/式内社の大祭(秋祭): 八社祭礼の中で最も大きい行事。八社の神が神集場に一堂に会します



12月31日(大晦日)/ やしろ竹あかり: 佐波良・形部神社(県社)周辺に、手づくりの竹灯籠が、ゆらゆらと幻想的に灯ります

